

景況などに関する会員アンケート

調査結果

平成 25 年 10 月

北陸経済連合会

目次

1. アンケート調査実施概要	1
2. アンケート調査結果概要	2
総括	2
I. 景気動向	3
II. 業績	5
III. その他	7
参考（アンケート調査結果）	12
I. 景気動向	12
II. 業績	15
III. その他	18

1. アンケート調査実施概要

○実施概要

北陸の景気動向や業況その他について、会員の意見、要望を的確、迅速に把握し、その結果を報告するとともに、各方面への要望活動に活かすため、北陸地域の景況などに関するアンケート調査を実施した。[今回で30回目]

○調査時期

平成25年9月2日～9月12日

○調査対象

北陸経済連合会会員企業

○回収率

回答率62.5%（送付企業296社、回収数185社）

○調査企業概要

本社の所在地	回収数	割合
富山県	71	38.4%
石川県	61	33.0%
福井県	19	10.3%
北陸三県以外	34	18.4%
計	185	100.0%

資本金	回収数	割合
1億円未満	64	34.6%
1億円～10億円未満	51	27.6%
10億円以上	70	37.8%
計	185	100.0%

調査結果の取りまとめにおいては、規模別を以下の基準で分類することとする。

【規模別】

- 大企業：資本金10億円以上
- 中堅企業：資本金1億円以上10億円未満
- 中小企業：資本金1億円未満

業種		回収数	割合
製 造 業	食料品製造業	2	1.1%
	繊維工業	2	1.1%
	木材・紙・パルプ製造業	1	0.5%
	出版・印刷・同関連業	5	2.7%
	化学工業	7	3.8%
	鉄鋼業・非鉄金属製造業	6	3.2%
	金属製品製造業	9	4.9%
	機械工業	10	5.4%
	その他製造業	17	9.2%
	非 製 造 業	卸売業	17
小売業		6	3.2%
建設業		33	17.8%
電気・ガス・水道業		4	2.2%
運輸業		8	4.3%
農・林・漁業		0	0.0%
鉱業		0	0.0%
金融業・保険業		18	9.7%
不動産		2	1.1%
サービス業		26	14.1%
その他の非製造業	12	6.5%	
計	185	100.0%	

業種	回収数	割合
製造業	59	31.9%
非製造業	126	68.1%
計	185	100.0%

2. アンケート調査結果概要

〔総括〕

北陸の景気動向 . . . 全体として回復基調にある

- ・現在の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみている企業が7割以上(75.1%)ある一方、「底這い」「下降」とみている企業(21.1%)が前回調査(48.6%)を大きく下回っており、全体として回復基調にある。
- ・25年度上期の景気について、景気判断BSI(「良い」と答えた割合から「悪い」を引いた値)で見ると、51.3(前回5.4)と大きく改善しており、景気は良くなっているとみている企業が大幅に増加した。また、来期(25年度下期)の見通しについては50.8であり、今期(51.3)とほぼ同水準を見込んでいる。
- ・現在の景気が「底這い」「下降」とした企業についても、6割を超える企業が26年度までには回復に転じるとみている。

業績 . . . 業種・規模を問わず改善の動きがみられる

- ・現在の業績水準については、「大変良い」「良い」とみている企業が28.1%(前回13.5%)と増加しているのに対し、「悪い」「大変悪い」とみている企業が17.9%(前回24.8%)と減少しており、改善の動きがみられる。
- ・25年度上期の業績について、業績判断BSI(「改善」と答えた割合から「悪化」を引いた値)で見ると、今期は28.1と、前回調査(24年度下期)の▲2.2から大きくプラスに転じた。また、来期(25年度下期)の見通しについては34.0と、改善を見込む企業が増加している。
- ・経営上の課題では、「人材養成・確保」(63.2%)が最も多く、次いで「国内販売力の強化」(56.8%)となっている。

その他

【経済政策について】

- ・安倍政権の経済政策について、「評価する」「どちらかといえば評価する」と答えた企業が約9割あり、多くの企業が肯定的な評価をしている。
- ・今後の経済政策に期待することとして、約7割の企業が「法人税率引下げ」を挙げている。

【北陸における成長戦略】

- ・北陸の産業の今後の成長に向け、注力すべき分野については、「広域交通網整備による交流促進」(54.1%)と答えた企業が最も多く、次いで「新技術・新事業創出」(43.2%)「広域観光の推進・強化」(41.6%)となっている。

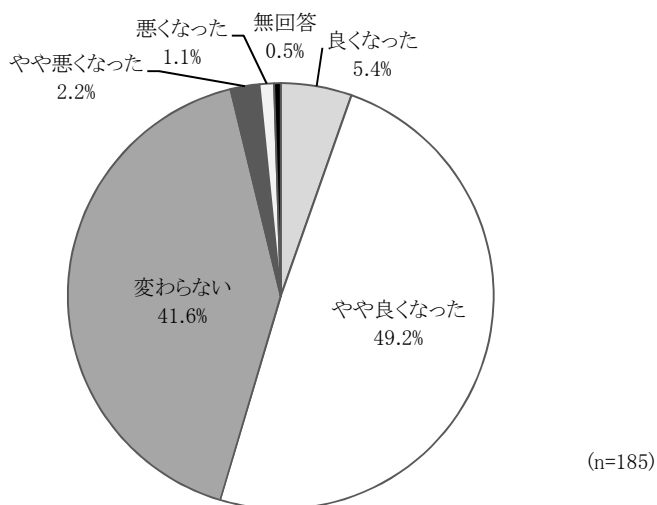
【貴社の国際化について】

- ・今後、国際化について「拡大する」と答えた企業は4割あり、会社の規模が大きいほど国際化を進めていくという結果になっている。
- ・今後、生産拠点または市場として有望な国・地域について、ASEAN諸国(ベトナム、タイ、インドネシア、ミャンマー)が上位を占めている。

I. 景気動向 全体として回復基調にある

- ・ 25年度上期の景気動向については、「良くなった」「やや良くなった」と答えた企業が54.6%で、「やや悪くなった」「悪くなった」の3.3%を大きく上回った。(図表1)
- ・ 25年度上期の景気について、景気判断BSI (図表2、※) でみると、前回調査の現状 (24年度下期) 判断が5.4であったのに対し、今回は51.3と大幅なプラスに転じ、景気は良くなっているとみている企業が大幅に増加した。業種別にみると、製造業が47.5 (前回▲9.2)、非製造業が53.1 (前回11.4) とどちらも大きく改善した。
- ・ 来期 (25年度下期) の見通しについては50.8であり、今期(51.3)とほぼ同水準を見込んでいる。(図表2)
- ・ 平成25年度上期の北陸地域の景気については、「すでに回復」「回復基調」とみる企業が75.1%で、前回調査 (49.2%) を大きく上回り、回復基調にあることがうかがえる。(図表3)
- ・ 現在の景気が「すでに回復」「回復基調」とした企業について、回復した理由は、「住宅投資の増加」および「公共投資の効果」がともに37.4% (前回15.4%および35.2%) と最も多く、「個人消費の回復」が34.5% (前回16.5%) と続いている。(図表4)
- ・ 一方、現在の景気が「底這い」「下降」とした企業について、今後回復に転じると予想される時期は、26年上期とみる企業が30.8%と最も多く、26年度までに回復に転じるとみる企業は61.5%を占める。(図表5)

図表1. 平成25度上期の景気 (前期比)



図表2. 平成25年上期の景気判断と見通し

※景気判断BSI

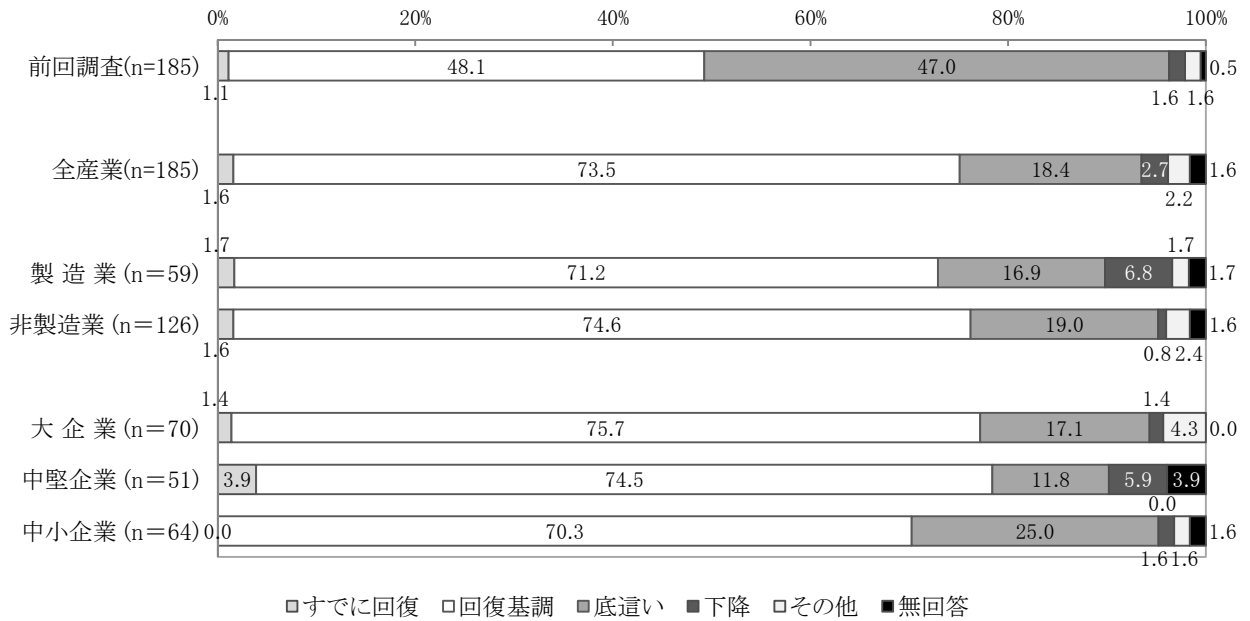
(「良い」「やや良い」) - (「悪い」「やや悪い」) 社数構成比

単位:%ポイント

	前回調査		今回調査			
	24年10~3月(前期)		25年4~9月(今期)		25年10~3月(見通し)	
	景気判断BSI		景気判断BSI	変化幅	景気判断BSI	変化幅
全産業	5.4		51.3	45.9	50.8	▲ 0.5
業種	製造業	▲ 9.2	47.5	56.7	52.5	5.0
	非製造業	11.4	53.1	41.7	49.9	▲ 3.2
規模	大企業	14.9	57.2	42.3	51.5	▲ 5.7
	中堅企業	5.3	45.1	39.8	43.2	▲ 1.9
	中小企業	▲ 4.8	50.0	54.8	56.3	6.3

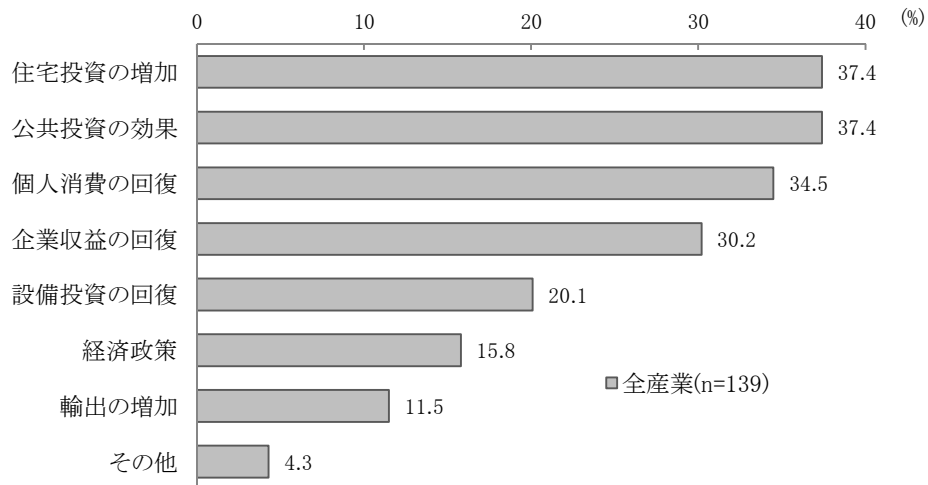
注) 25年4~9月(今期)の変化幅は24年10~3月(前期)との対比、25年10~3月(見通し)の変化幅は25年4~9月(今期)との対比。

図表3. 平成25年度上期の景気基調



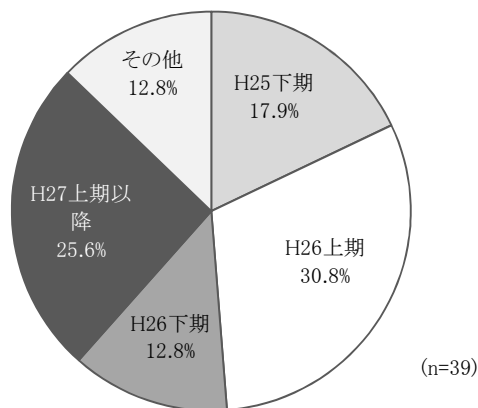
図表4. 平成25年度上期の景気が良い理由（複数回答）

景気が「すでに回復」「回復基調」と回答された企業



図表5. 北陸地域の景気が回復に転じる時期

景気が「底這い」「下降」と回答された企業



Ⅱ. 業績

業種・規模を問わず改善の動きがみられる

- 25年度上期の業績について、業績判断BSI（図表6 ※）でみると、今期は、前回調査の現状（24年度下期）では▲2.2だったのに対し、今回は28.1と大きくプラスに転じ、改善したとする企業が増加した。
- 業種別でみると、製造業が28.8（前回▲24.1）と大きく改善している。規模別で見ると、大企業が42.8（前回7.5）と大幅に増加したほか、前はマイナスだった中堅企業（前回▲1.8）および中小企業（前回▲12.9）がそれぞれプラス（中堅企業23.6、中小企業15.5）に転じている。（図表6）
- 来期（25年度下期）の見通しについては34.0（今期28.1）と、改善を見込む企業が増えている。業種別でみると、製造業が35.6（今期28.8）、非製造業が33.4（今期27.7）と業種を問わず改善を見込んでいる。規模別でみると、大企業は37.2（今期42.8）とやや減少しているものの、中堅企業は35.3（今期23.6）、中小企業は29.7（今期15.5）と増えている。（図表6）
- 現在の業績水準についてみると、「大変良い」「良い」とみている企業が28.1%（前回13.5%）、「悪い」「大変悪い」とみている企業が17.9%（前回24.8%）となっており、改善の動きがみられる。（図表7）
- 経営上の課題では、「人材養成・確保」（63.2%）が最も多く、次いで「国内販売力の強化」（56.8%）となっている。業種別でみると、製造業では「新商品開発」（50.8%）が「国内販売力の強化」（50.8%）と並び多い。（図表8）

図表6. 平成25年度上期の業績判断と見通し

※業績判断BSI

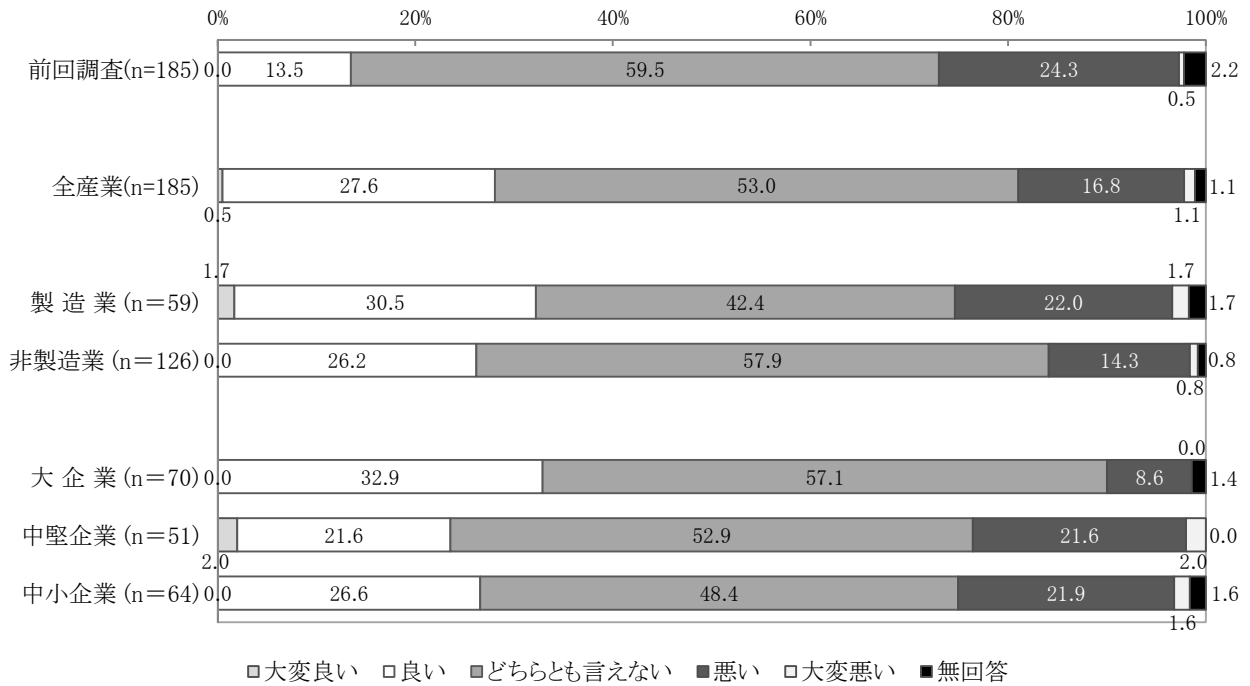
（「改善」「やや改善」） - （「悪化」「やや悪化」）社数構成比

単位：%ポイント

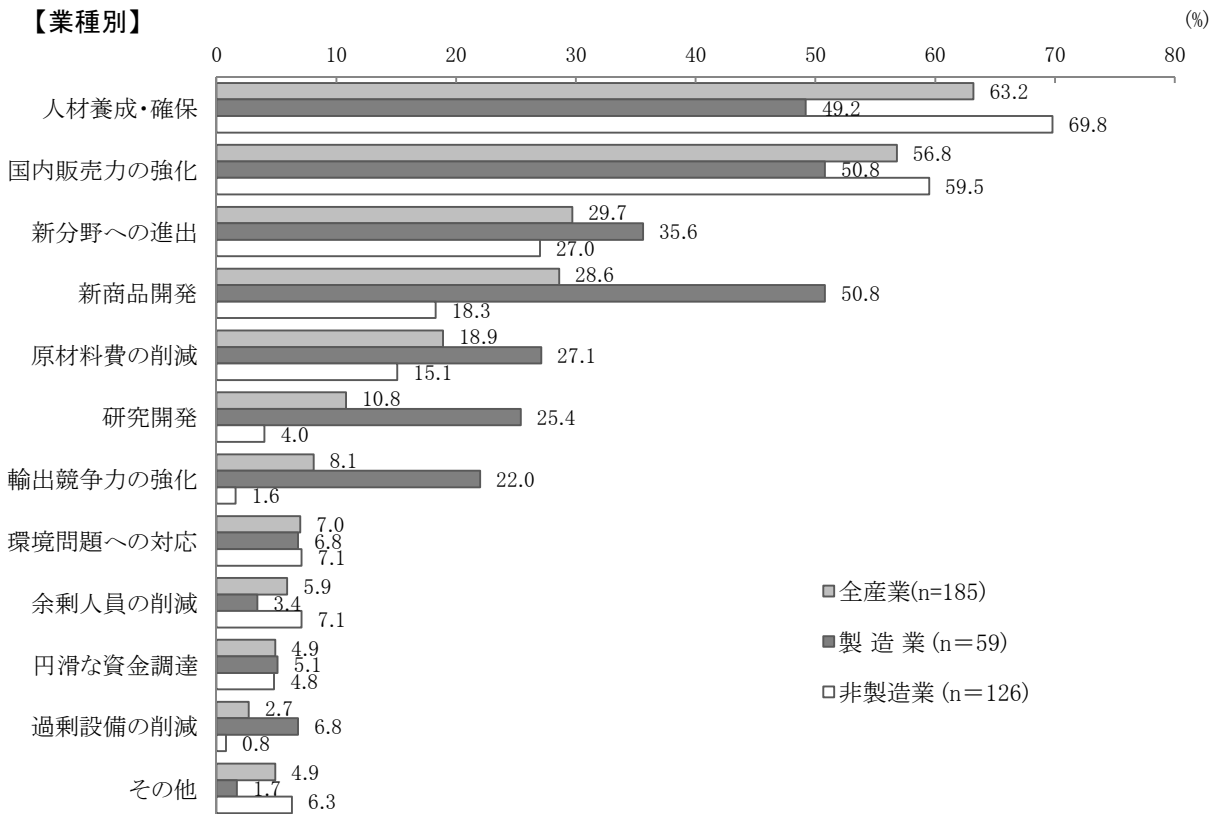
		前回調査		今回調査			
		24年10～3月(前期)		25年4～9月(今期)		25年10～3月(見通し)	
		業績判断BSI		業績判断BSI	変化幅	業績判断BSI	変化幅
全産業		▲ 2.2	28.1	30.3	34.0	5.9	
業種	製造業	▲ 24.1	28.8	52.9	35.6	6.8	
	非製造業	6.9	27.7	20.8	33.4	5.7	
規模	大企業	7.5	42.8	35.3	37.2	▲ 5.6	
	中堅企業	▲ 1.8	23.6	25.4	35.3	11.7	
	中小企業	▲ 12.9	15.5	28.4	29.7	14.2	

注) 25年4～9月(今期)の変化幅は24年10～3月(前期)との対比、25年10～3月(見通し)の変化幅は25年4～9月(今期)との対比。

図表7. 現在の業績水準



図表8. 経営上の課題 (3つまで回答)

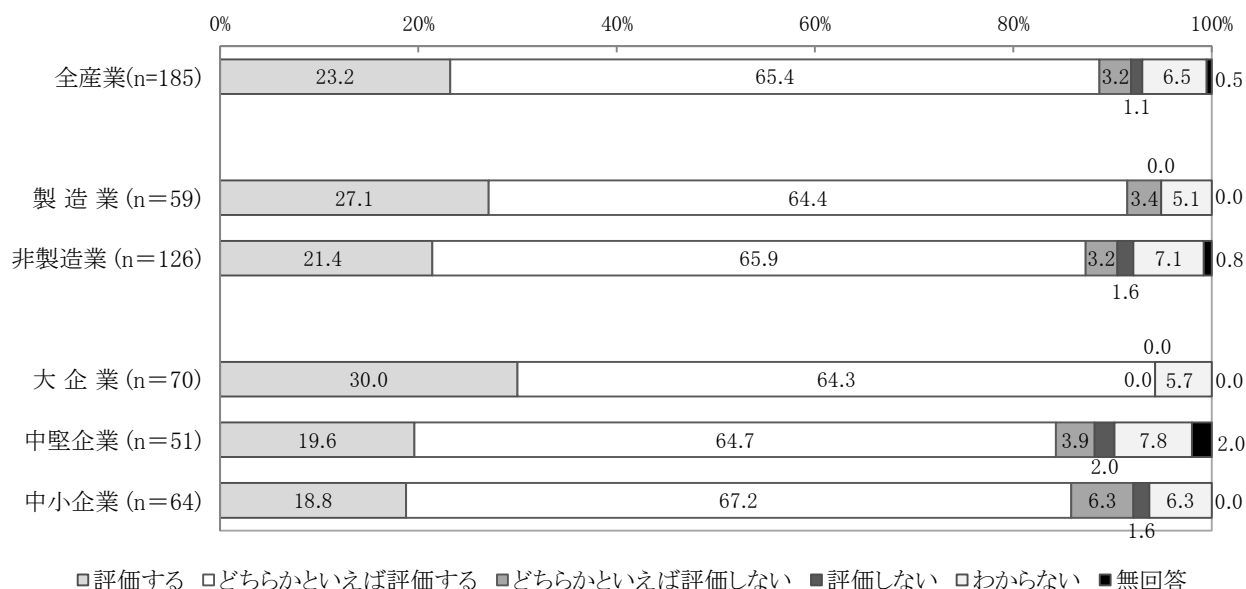


Ⅲ. その他

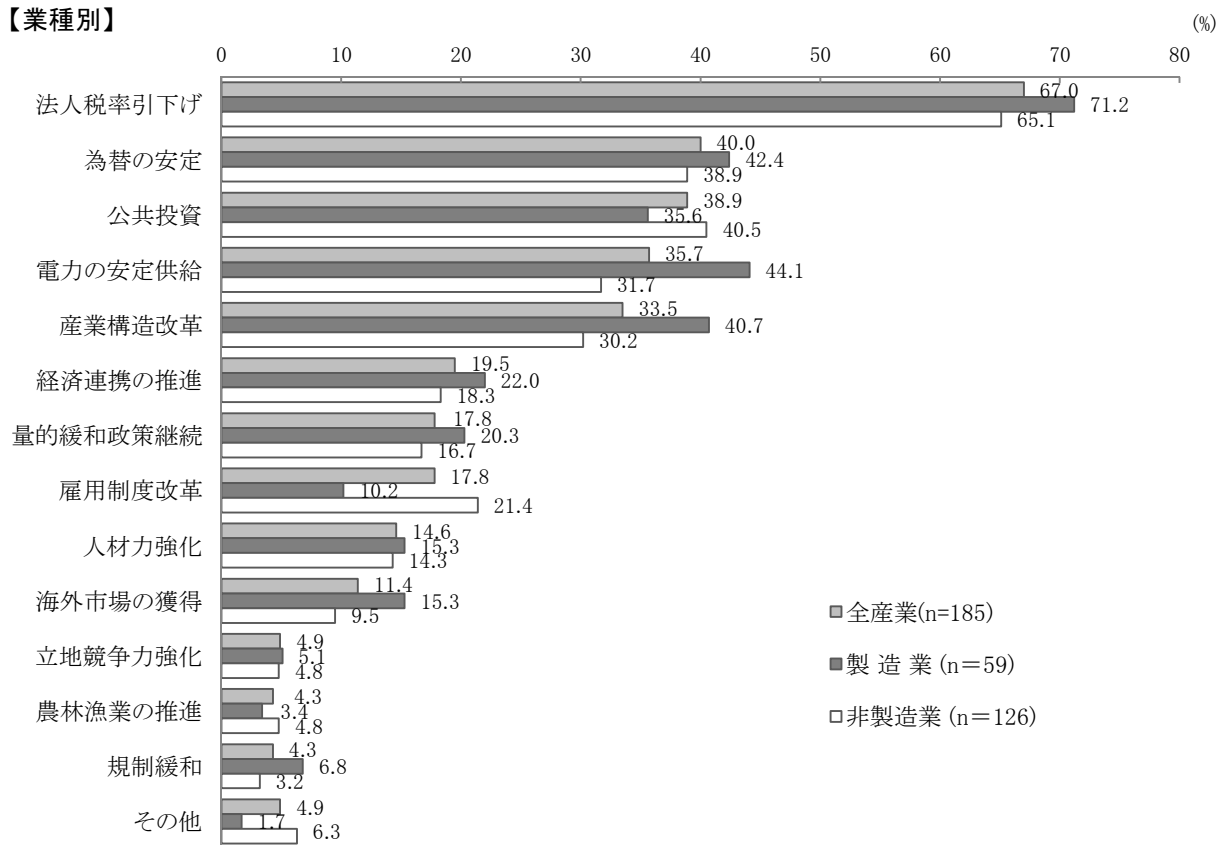
アベノミクスといわれる安倍政権の経済政策について

- ・ 安倍政権の経済政策について、「評価する」「どちらかといえば評価する」と答えた企業が88.6%であり、多くの企業が肯定的な評価をしている。（否定的な評価は4.3%）（図表9）
- ・ 今後の経済政策に期待することとして多く挙げられているのは、「法人税率引下げ」（67.0%）が最も多く、「為替の安定」（40.0%）、「公共投資」（38.9%）、「電力の安定供給」（35.7%）、産業構造改革（33.5%）と続いている。（図表10）
- ・ 業種別にみると、製造業は「法人税率引下げ」が71.2%、「電力の安定供給」が44.1%、「為替の安定」が42.4%、「産業構造改革」が40.7%、非製造業は「法人税率引下げ」が65.1%、「公共投資」が40.5%、「為替の安定」が38.9%と続いている。（図表10）
- ・ 規模別にみると、いずれも「法人税率引下げ」を最も期待する政策としており、次いで大企業は「産業構造改革」（42.9%）、中堅企業は「為替の安定」（45.1%）、中小企業は「公共投資」（46.9%）となっている。（図表11）

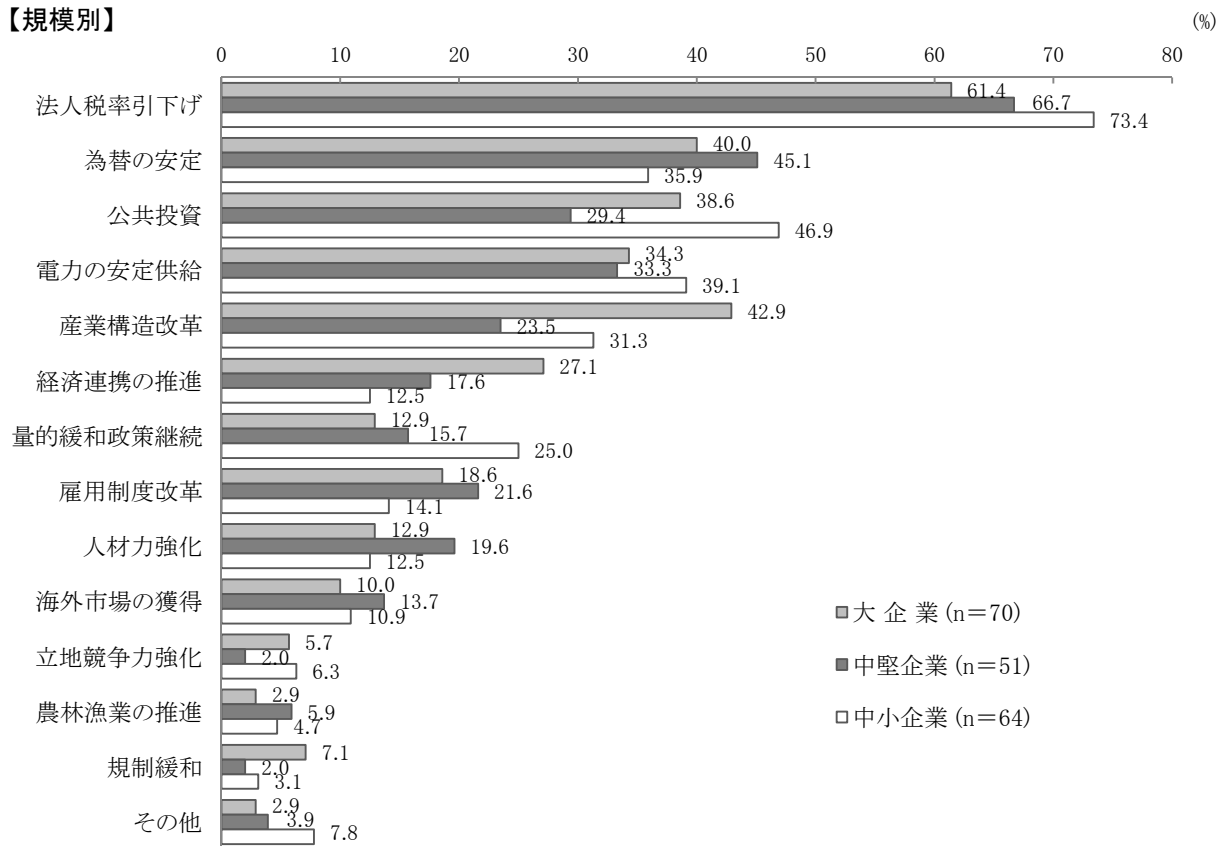
図表9. 経済政策についての評価



図表10. 今後の経済政策に期待すること（複数回答）



図表11. 今後の経済政策に期待すること（複数回答）

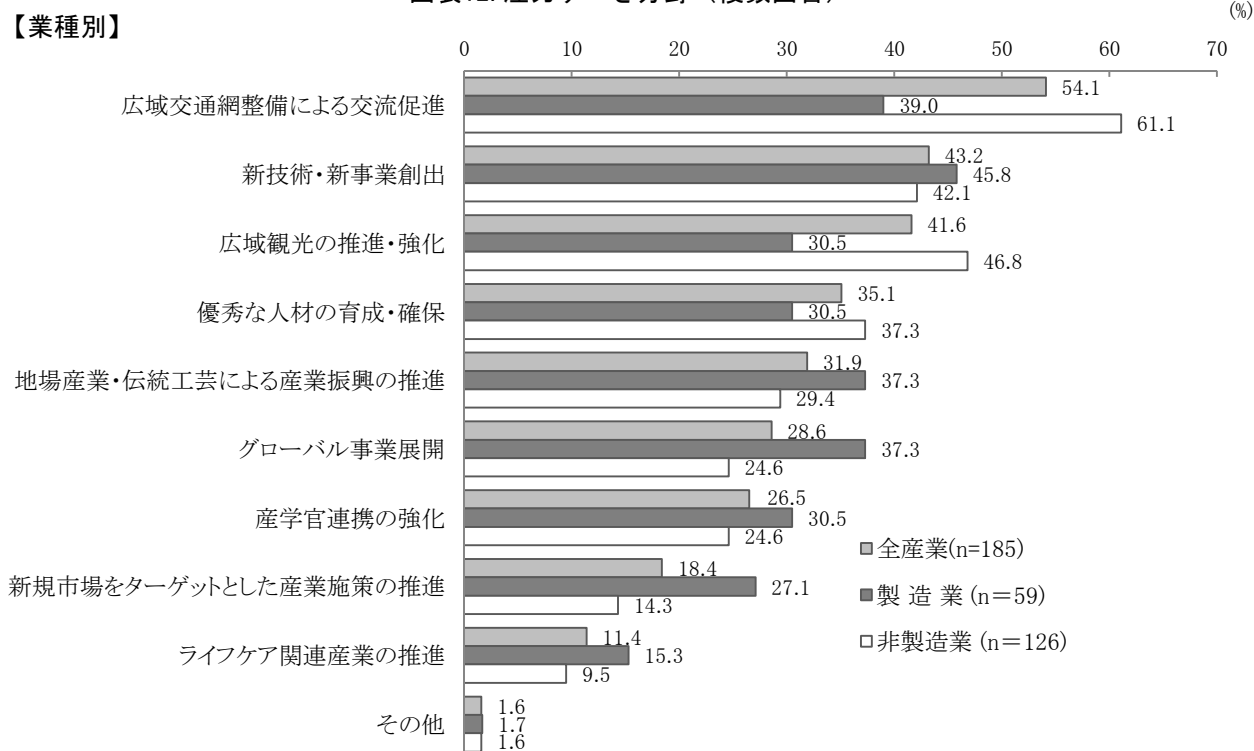


Ⅲ. その他

今後の北陸における成長戦略について

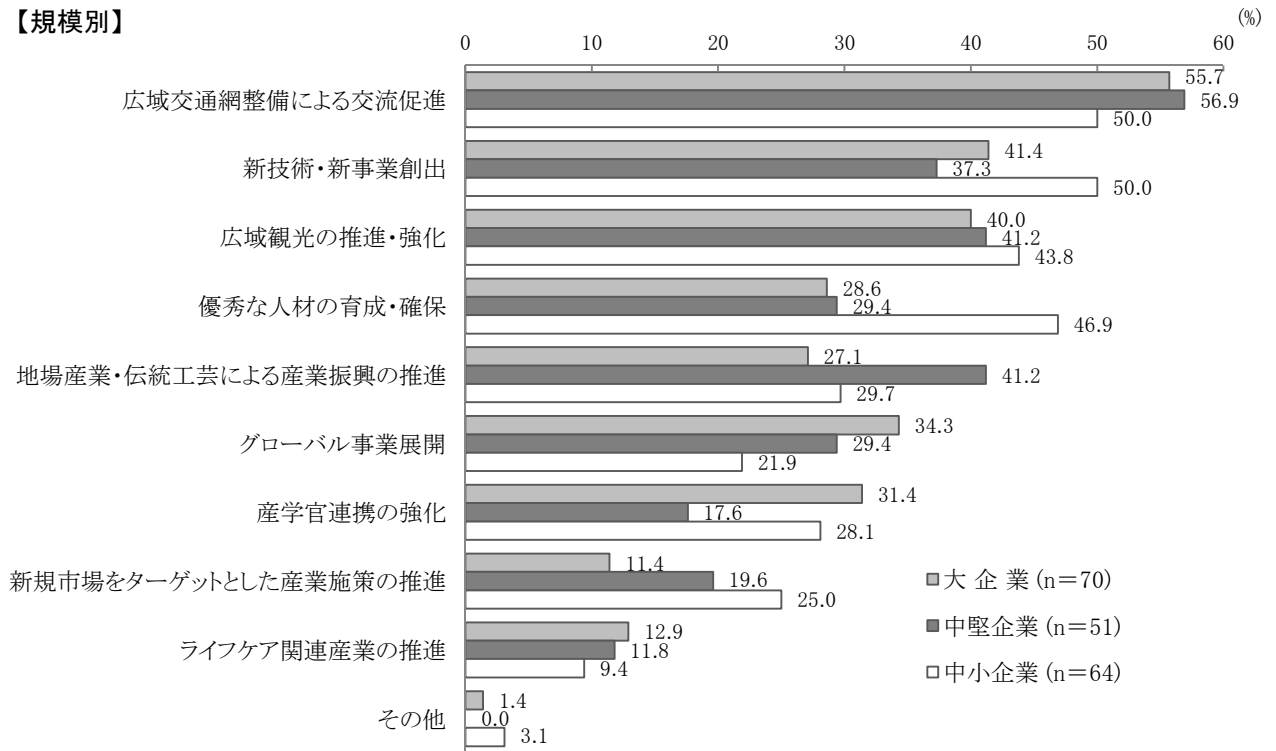
- ・ 北陸の産業の今後の成長に向け、注力すべき分野については、「広域交通網整備による交流促進」と答えた企業が54.1%、「新技術・新事業創出」が43.2%、「広域観光の推進・強化」が41.6%となっている。（図表12）
- ・ 業種別に見ると、非製造業において、「広域交通網整備による交流促進」が61.1%と最も多く、北陸新幹線をはじめとした、広域交通ネットワークの早期整備促進が必要と考えられる。（図表12）
- ・ また、製造業においては「新技術・新事業創出」が45.8%と最も多く、企業の技術開発を促進する税制の整備や、産学官連携などを支援する施策の一層の拡充が求められる。（図表12）
- ・ 規模別にみると、中小企業において「優秀な人材の育成・確保」と答えた企業が46.9%と、大企業（28.6%）中堅企業（29.4%）と比較して多くなっており、人材育成事業における支援の充実が必要と考えられる。（図表13）

図表12. 注力すべき分野（複数回答）



図表13. 注力すべき分野（複数回答）

【規模別】

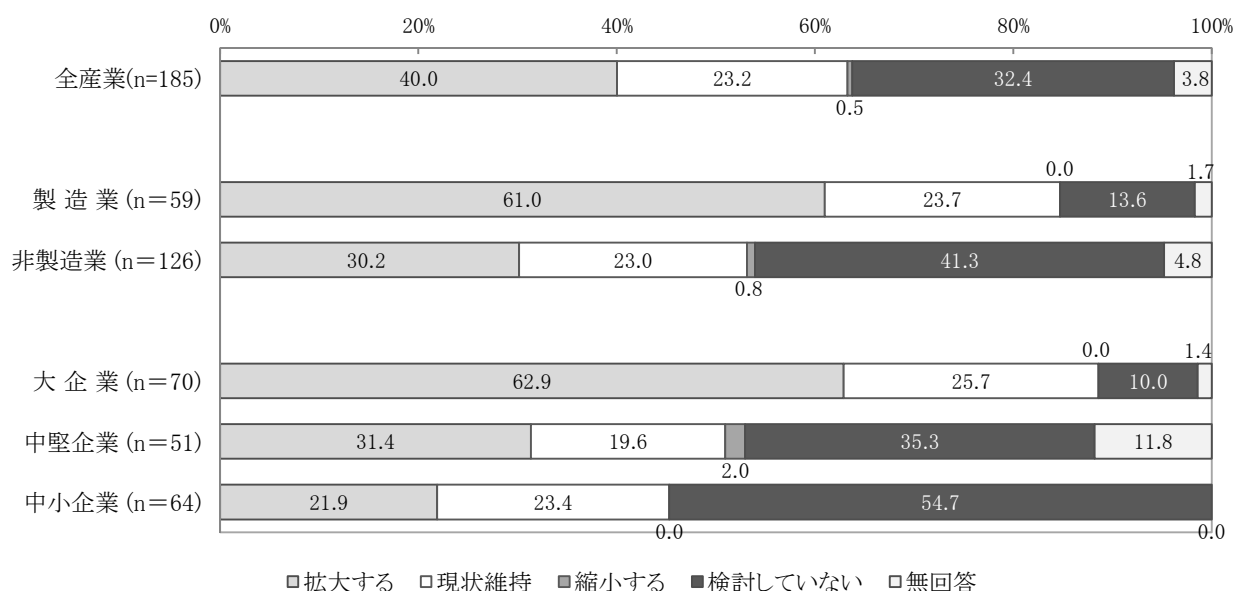


Ⅲ. その他

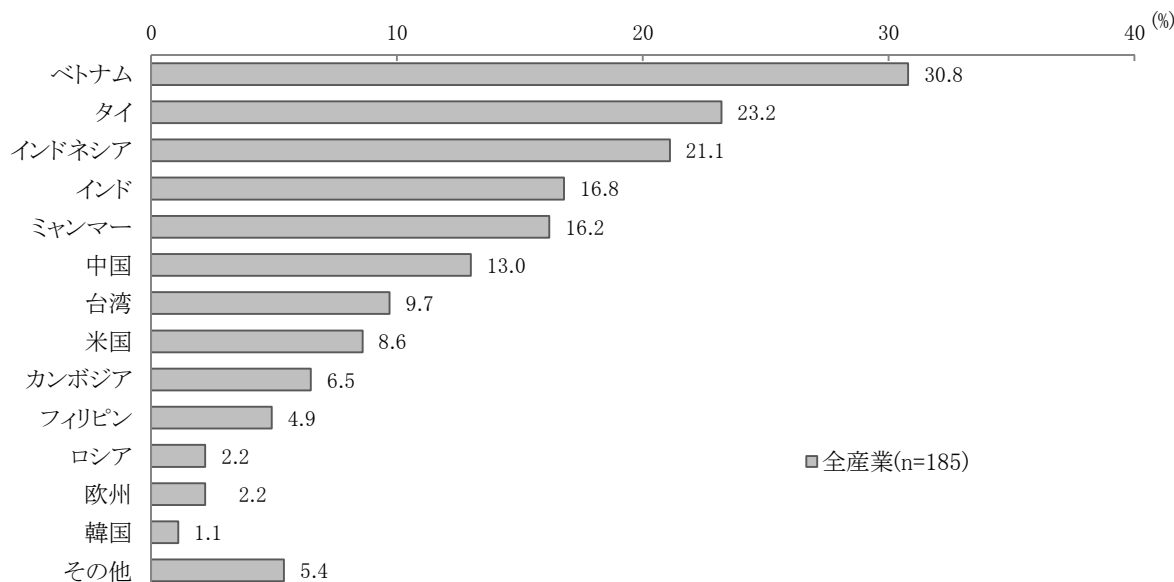
貴社の国際化に関する考えについて

- ・ 今後、国際化について「拡大する」と答えた企業は40.0%、「現状維持」は23.2%であった。業種別に見ると「拡大する」と答えた企業は製造業で61.0%であるのに対し、非製造業では30.2%となっている。また、企業の規模別に見ると大企業が62.9%、中堅企業が31.4%、中小企業が21.9%と規模が大きいほど国際化に前向きな結果となっている。（図表14）
- ・ 今後、当地域としてより国際化のメリットを得ていくためには、国際化の裾野を中堅・中小企業にも広げていくことが課題といえる。
- ・ 今後、生産拠点または市場として有望な国・地域について、ASEAN諸国とする回答が極めて多かった。具体的にはベスト5のうちベトナム（30.8%）、タイ（23.2%）、インドネシア（21.1%）、ミャンマー（16.2%）の4か国が占めている。（図表15）
- ・ 北陸AJECが昨年9月に実施した北陸企業の国際化に関するアンケートでは、今後の海外展開先としてASEANと中国が同率で首位であったが、今回のアンケートでは中国は6位となっており、チャイナプラスワンの動きがこの1年間で急速に拡大したことがうかがえる。

図表14. 国際化について



図表15. 有望な国・地域（3つまで回答）

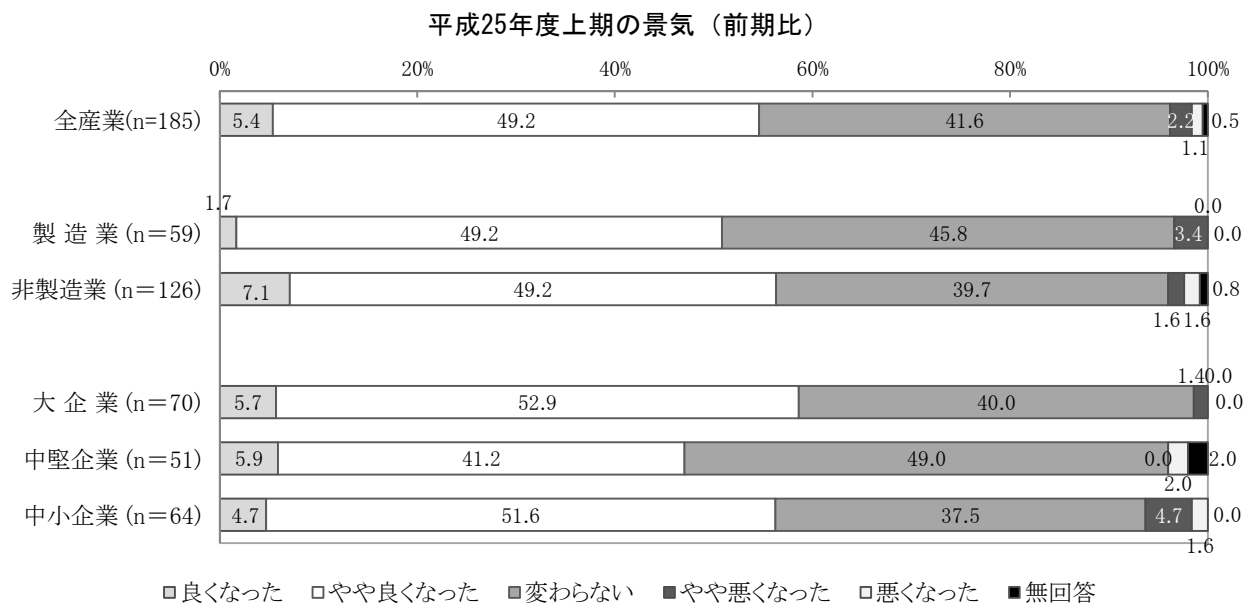


参考(アンケート調査結果)

I 景気動向

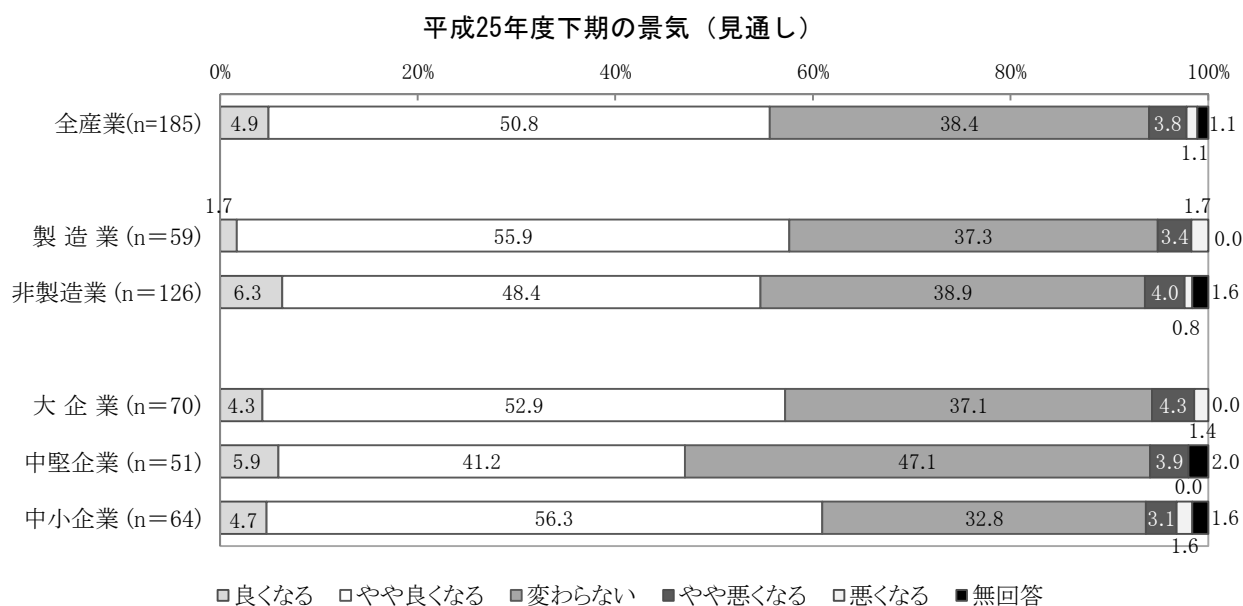
Q.1

北陸地域の平成25年度上期(4月～9月)の景気は平成24年度下期(10月～3月)に比べどのように変化したと思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



Q.2

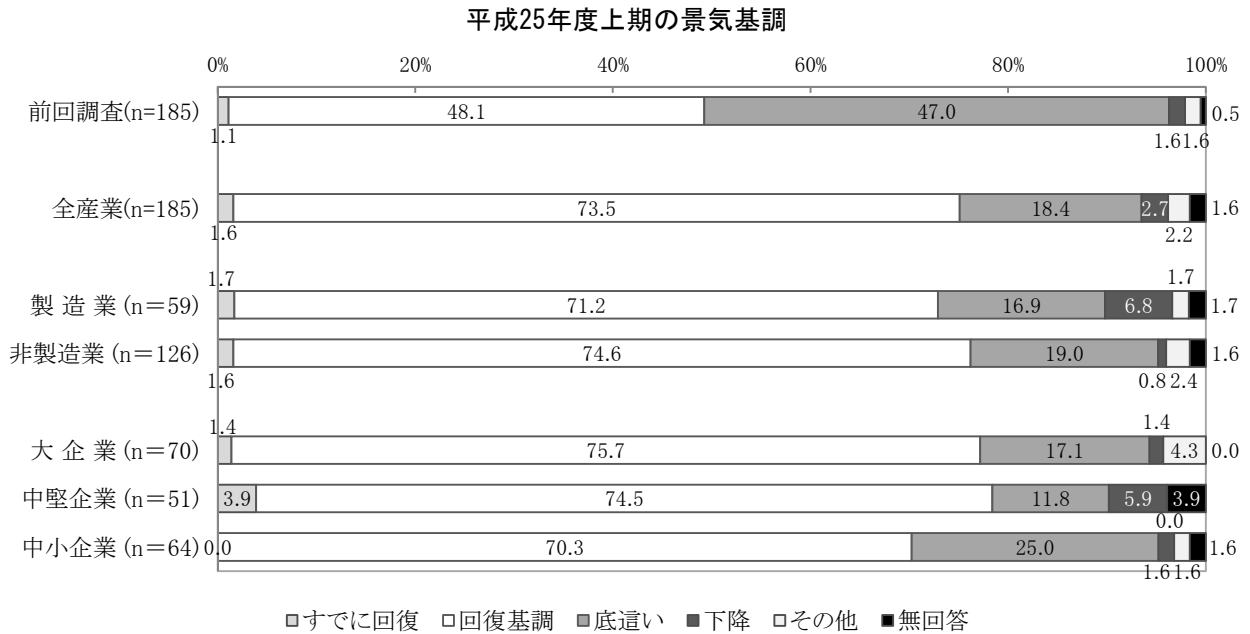
北陸地域の平成25年度下期(10月～3月)の景気は平成25年度上期(4月～9月)に比べどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)



I 景気動向

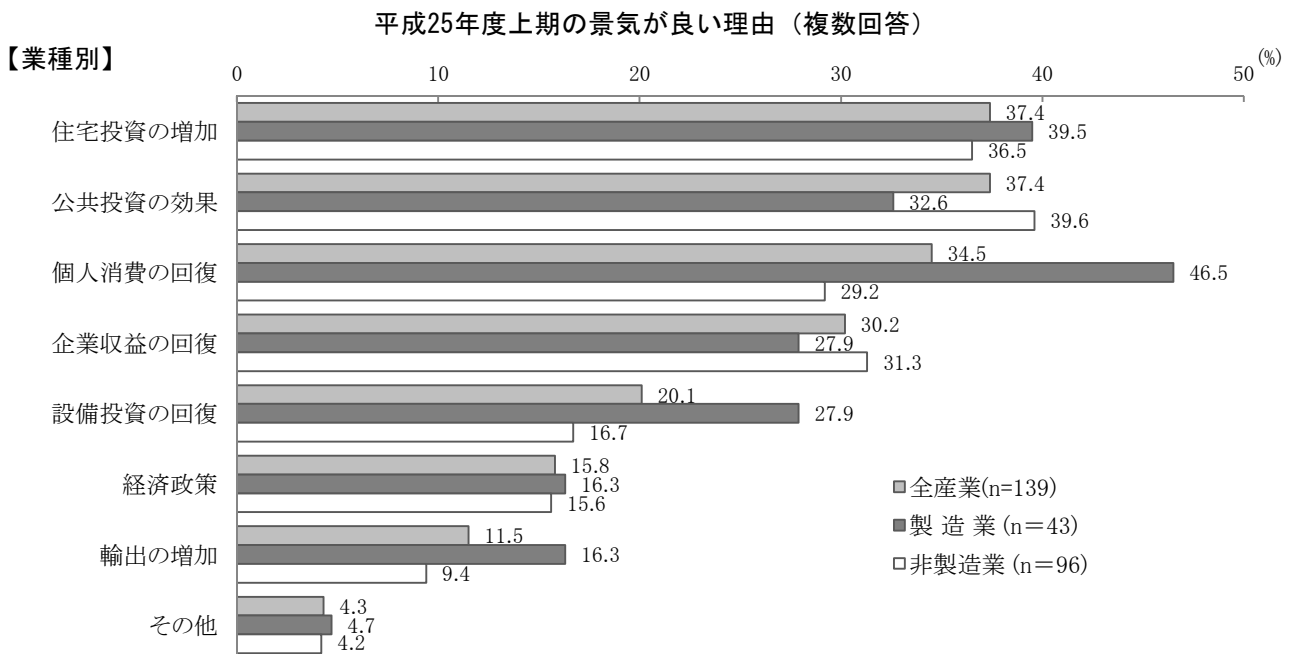
Q.3

平成25年度上期(4月～9月)の北陸地域の景気は基調として以下のどの局面にあると判断されていますか。



Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
平成25年度上期(4月～9月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



◎経済政策の具体的な回答

- ・インフレ政策による株価上昇、円安
- ・アベノミクス効果(への期待)
- ・金融緩和

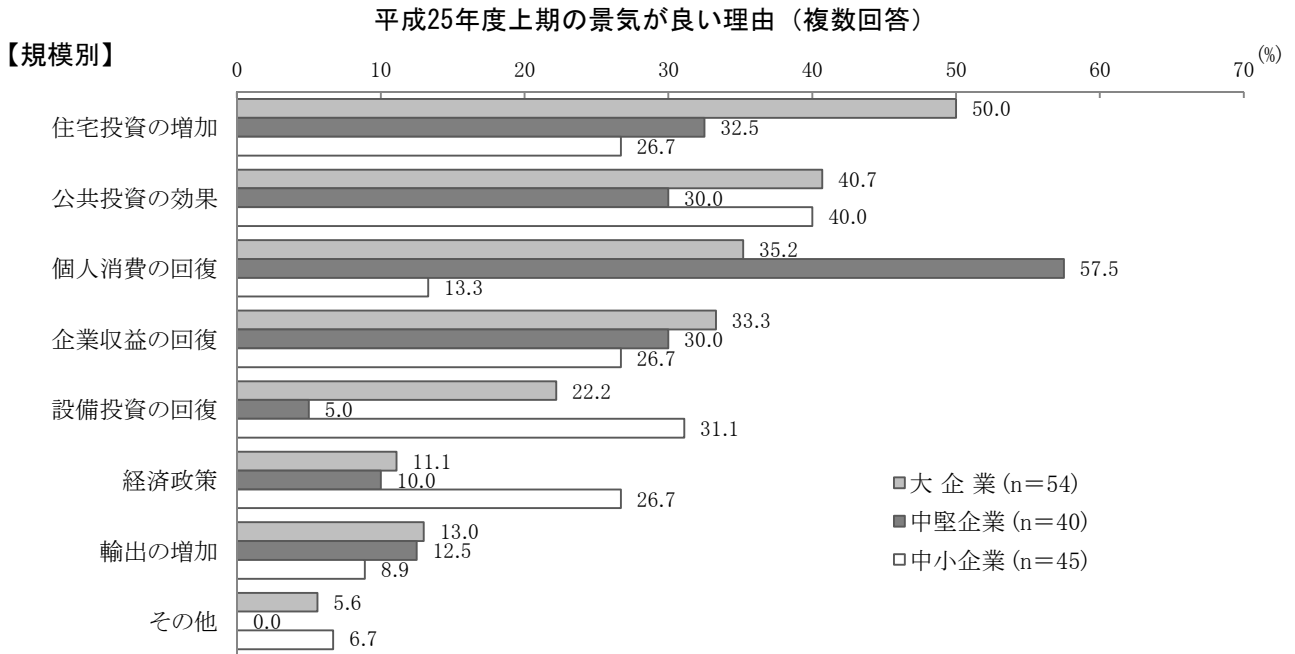
◎その他の具体的な回答

- ・北陸新幹線関連
- ・雇用情勢の回復
- ・消費税増税前のかけ込み需要

I 景気動向

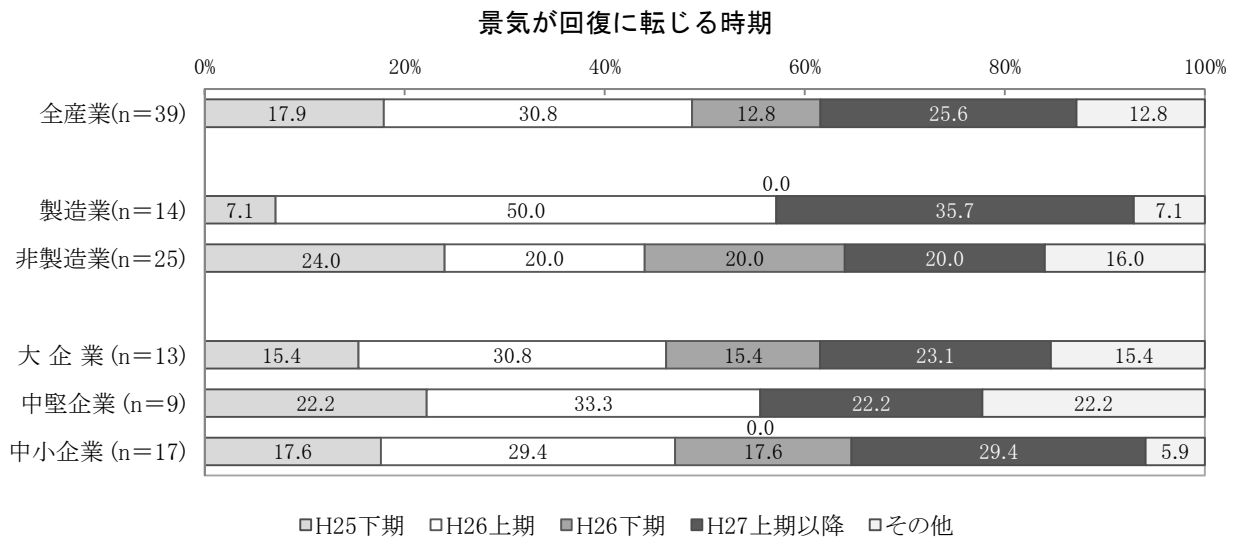
Q.4

Q.3で「すでに回復」「回復基調」と回答された方へ
 平成25年度上期(4月～9月)の景気が良いのは何によるものだと思いますか。(複数回答可)



Q.5

Q.3で「底這い」「下降」と回答された方へ
 北陸地域の景気が今後回復に転じると予想される時期はいつ頃と思われますか。



◎その他の具体的な回答

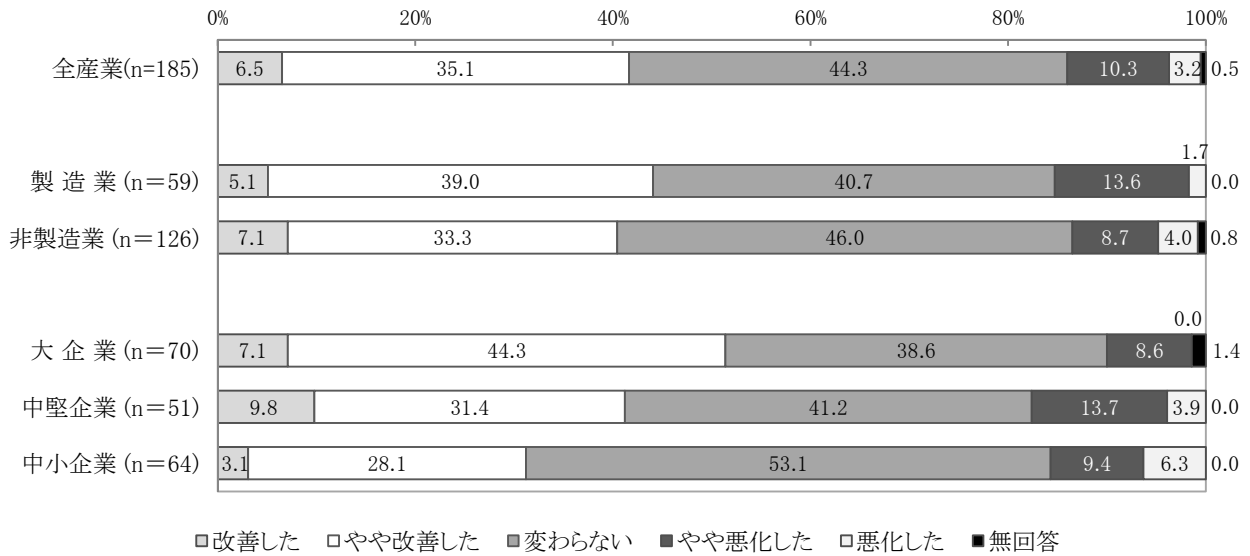
- ・原子力発電所再稼働問題が重要
- ・消費税増税により回復の見通しは不透明

II 業績

Q.1

貴社の平成25年度上期(4月～9月)の業績は、平成24年度下期(10月～3月)に比べてどのように変化しましたか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)

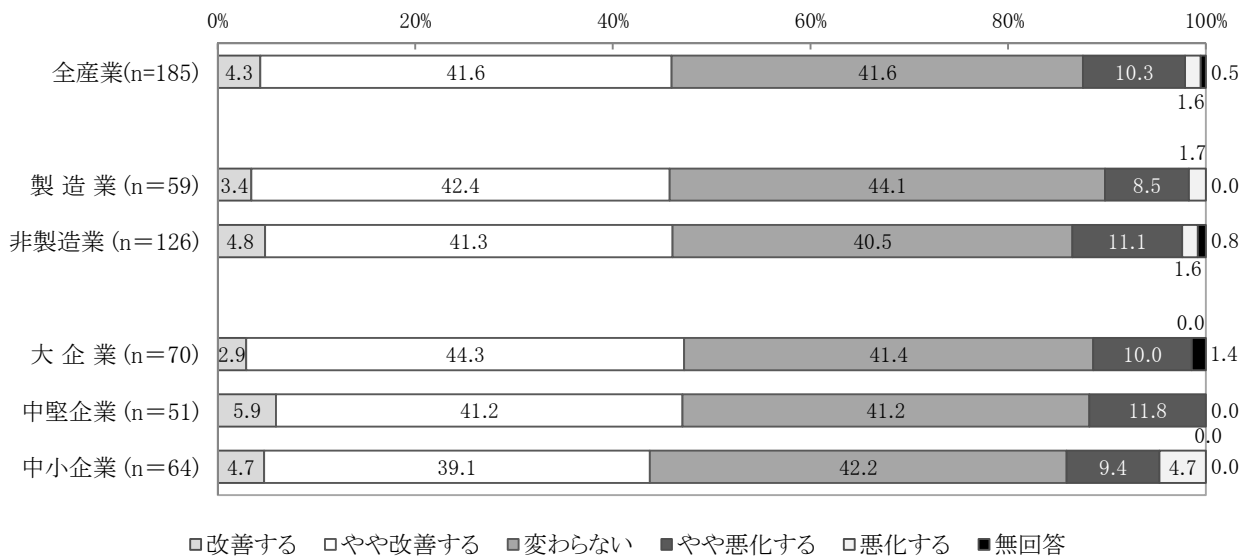
平成25年度上期の業績(前期比)



Q.2

貴社の平成25年度下期(10月～3月)の業績は、平成25年度上期(4月～9月)に比べてどのように変化すると思われますか。(季節的要因を除外してお答え下さい。)

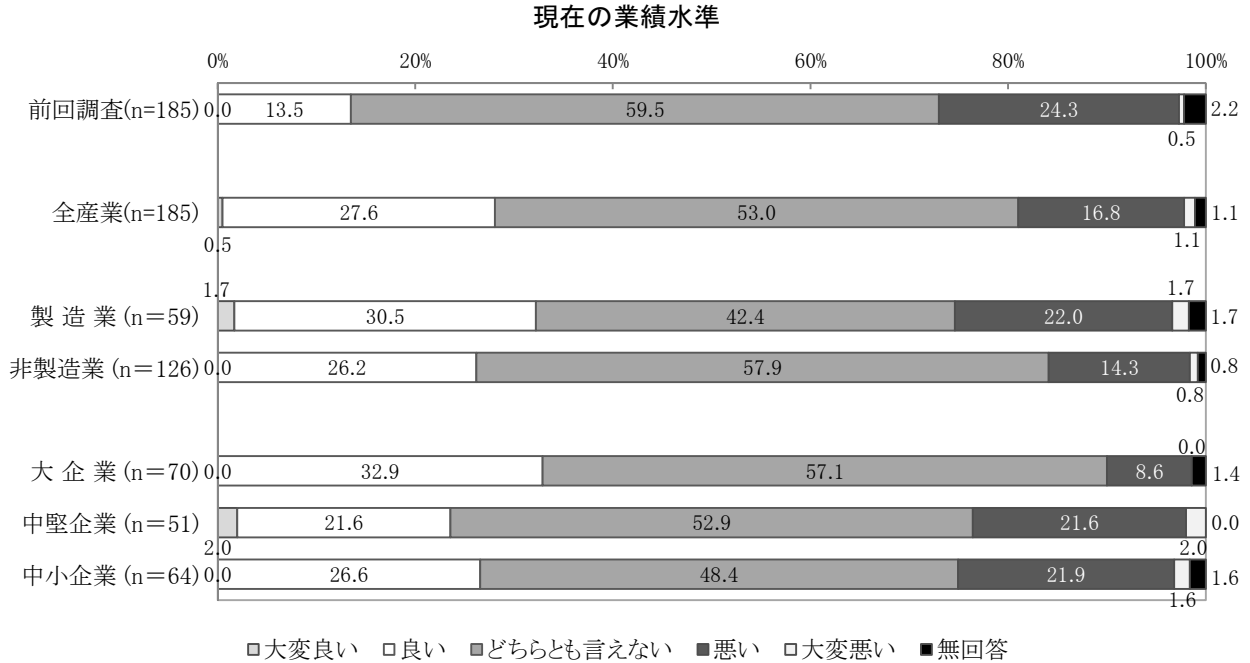
平成25年度下期の業績(見通し)



II 業績

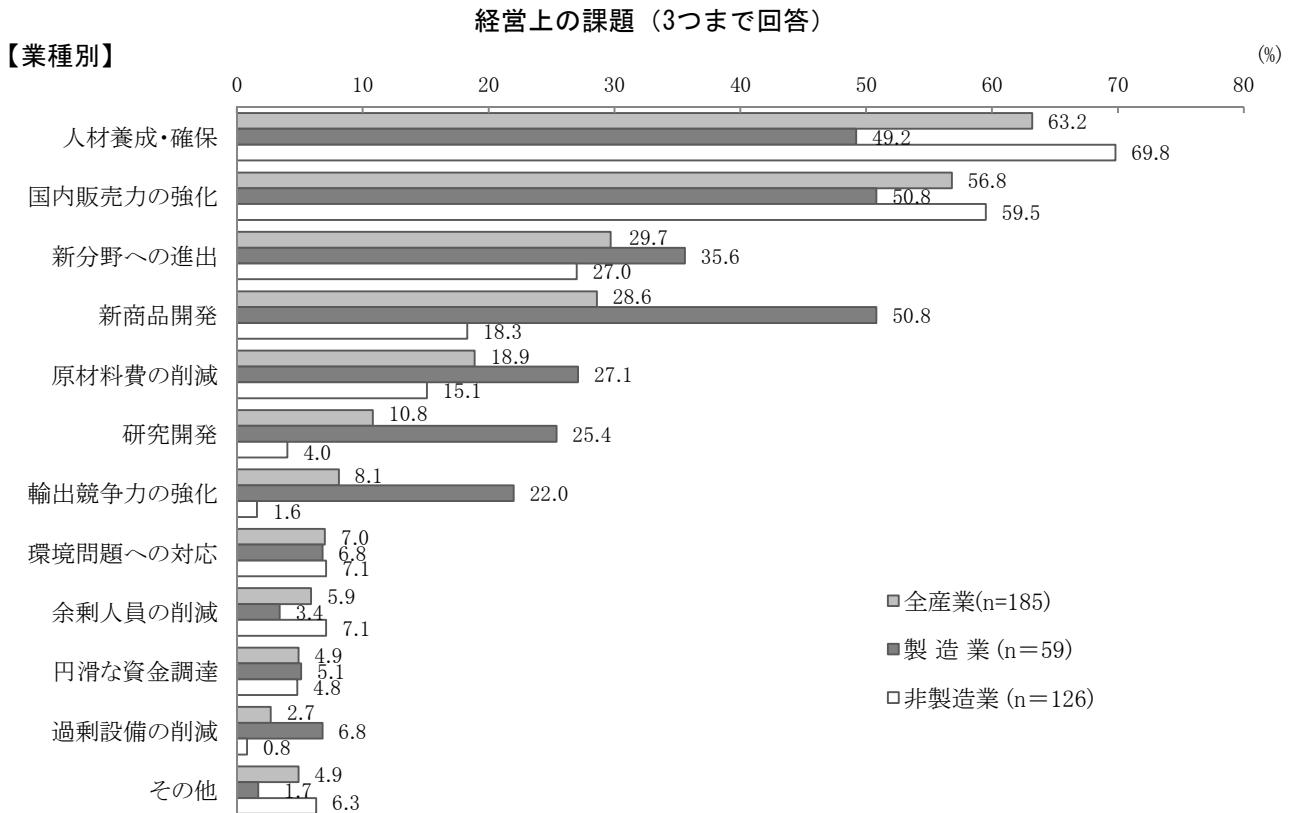
Q.3

現在の貴社の業績水準についてどうお考えですか。



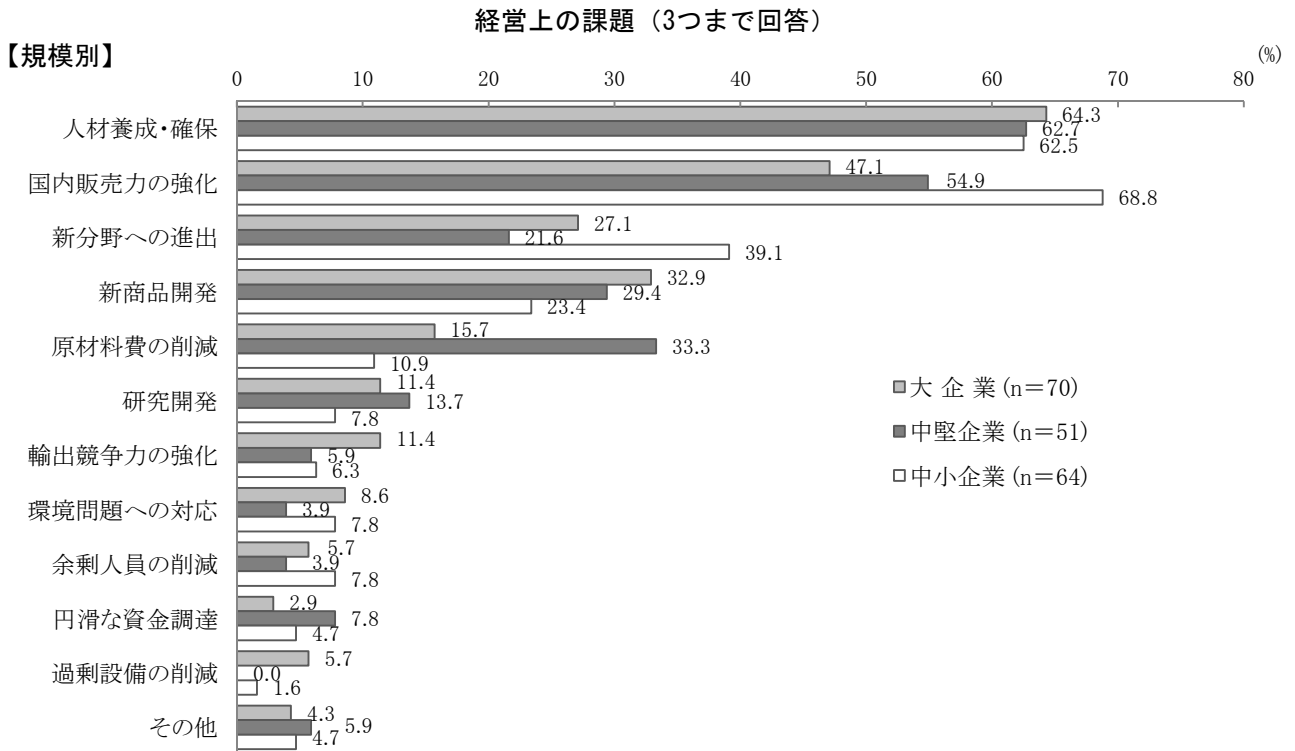
Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)



Q.4

貴社にとっての経営上の課題は、どのような点でしょうか。(3つまで回答可)



◎その他の具体的な回答

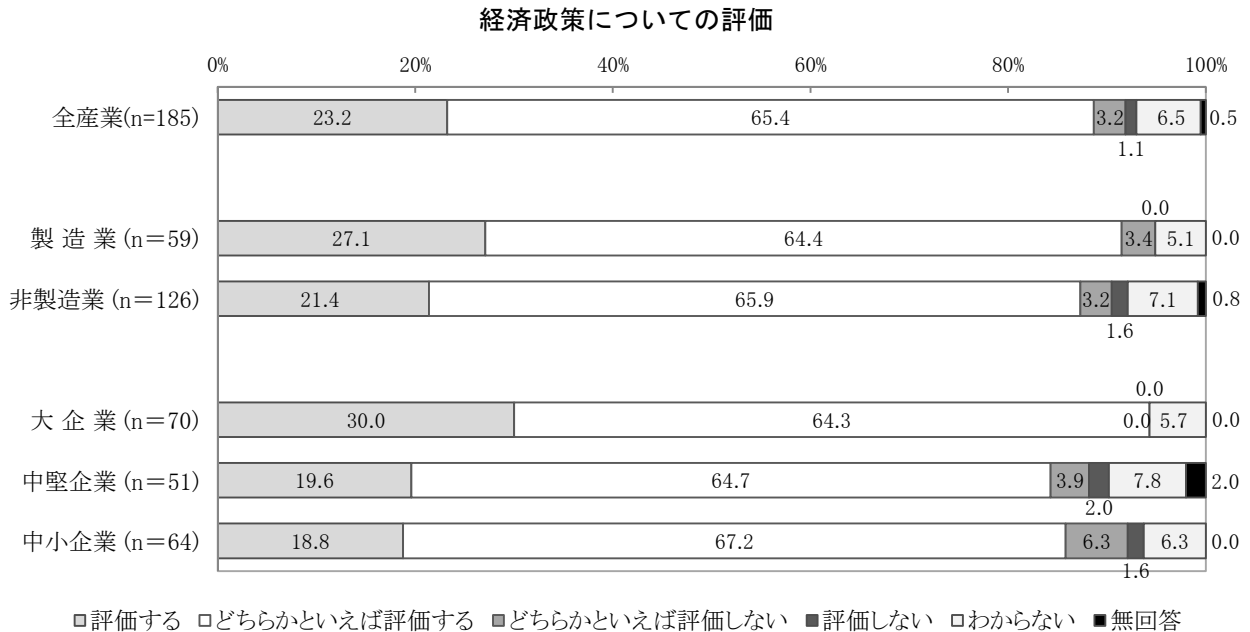
- ・ビジネスモデルの改善改良
- ・海外業務展開
- ・収益力の強化
- ・過当競争からの脱却
- ・他社との差別化

III その他(経済政策)

アベノミクスといわれる安倍政権の経済政策についてお聞きます。

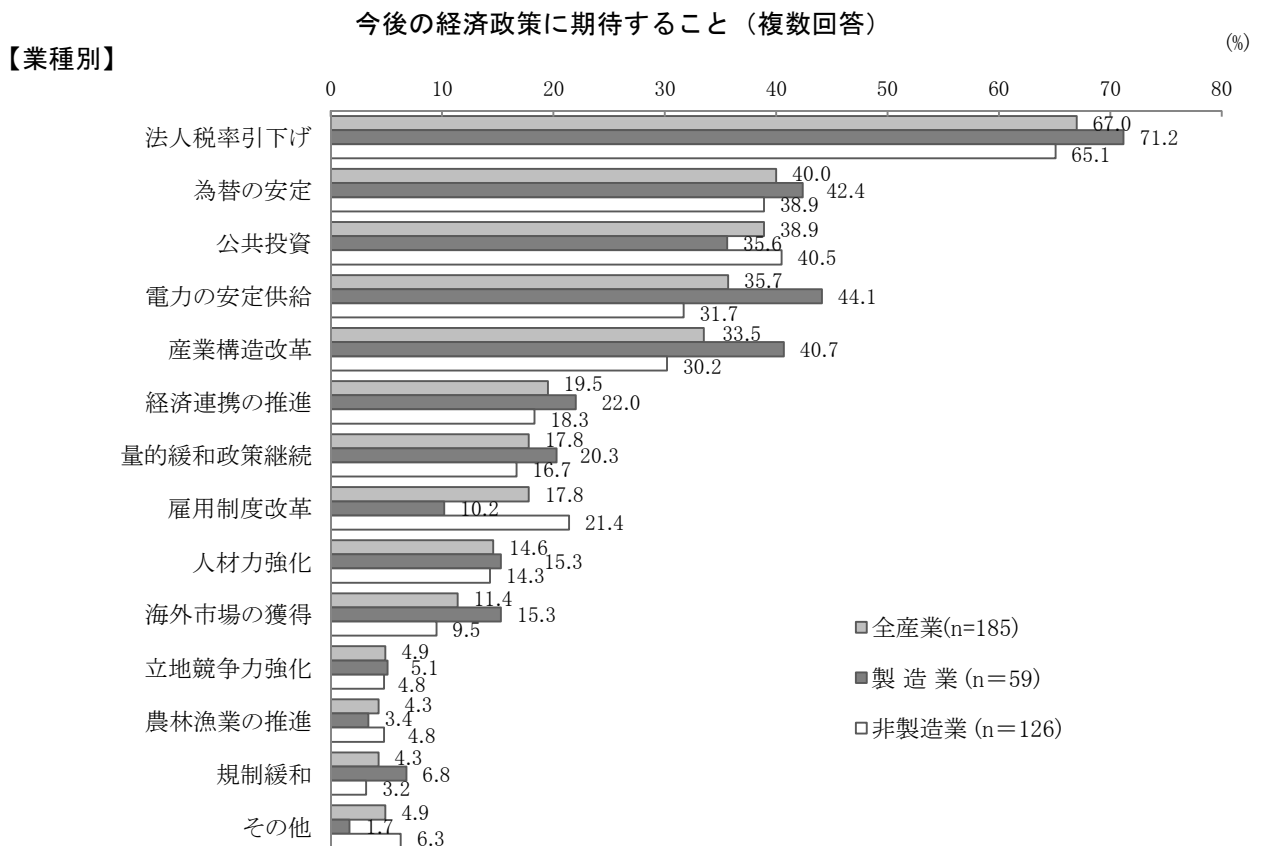
Q.1

経済政策について評価されますか。



Q.2

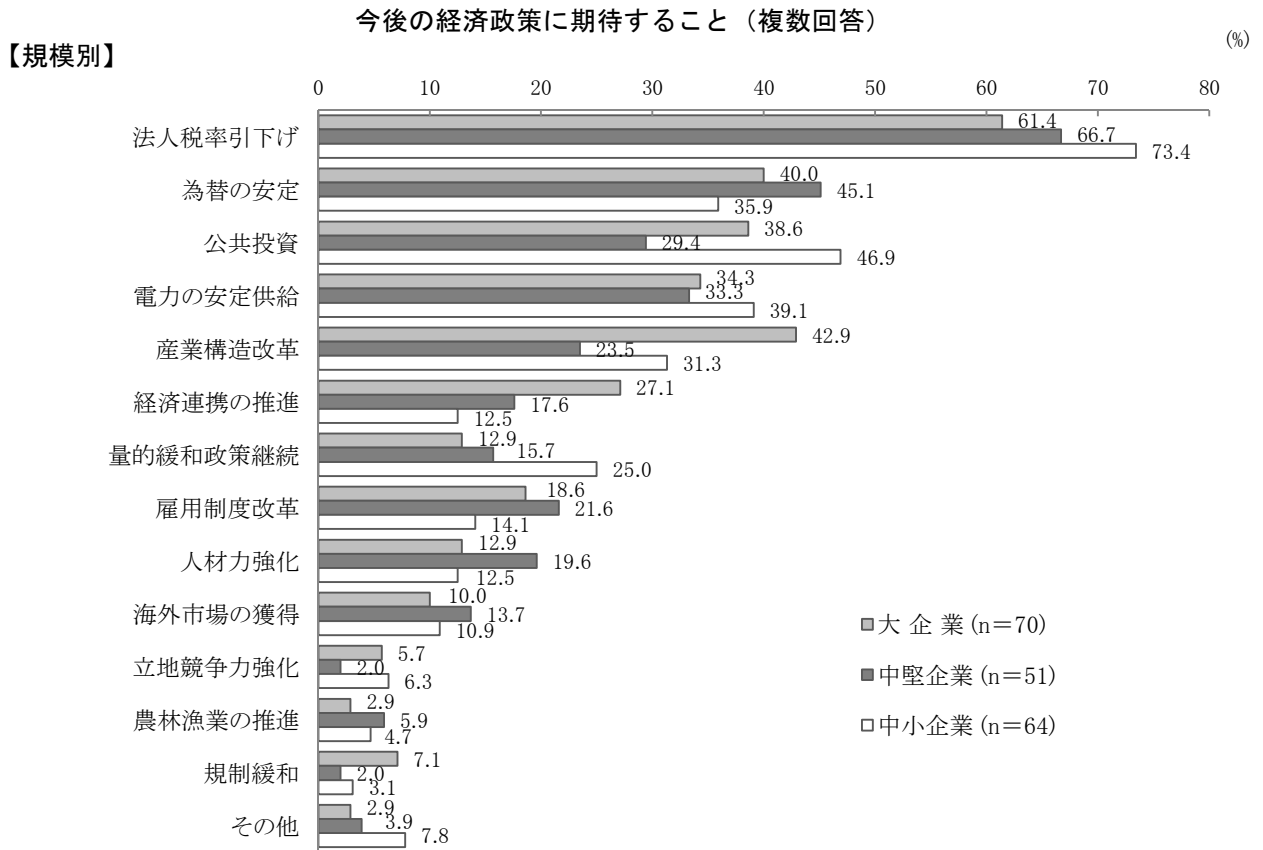
今後の経済政策に期待することはどのようなことですか。(複数回答可)



III その他(経済政策)

Q.2

今後の経済政策に期待することはどのようなことですか。(複数回答可)



◎その他の具体的な回答

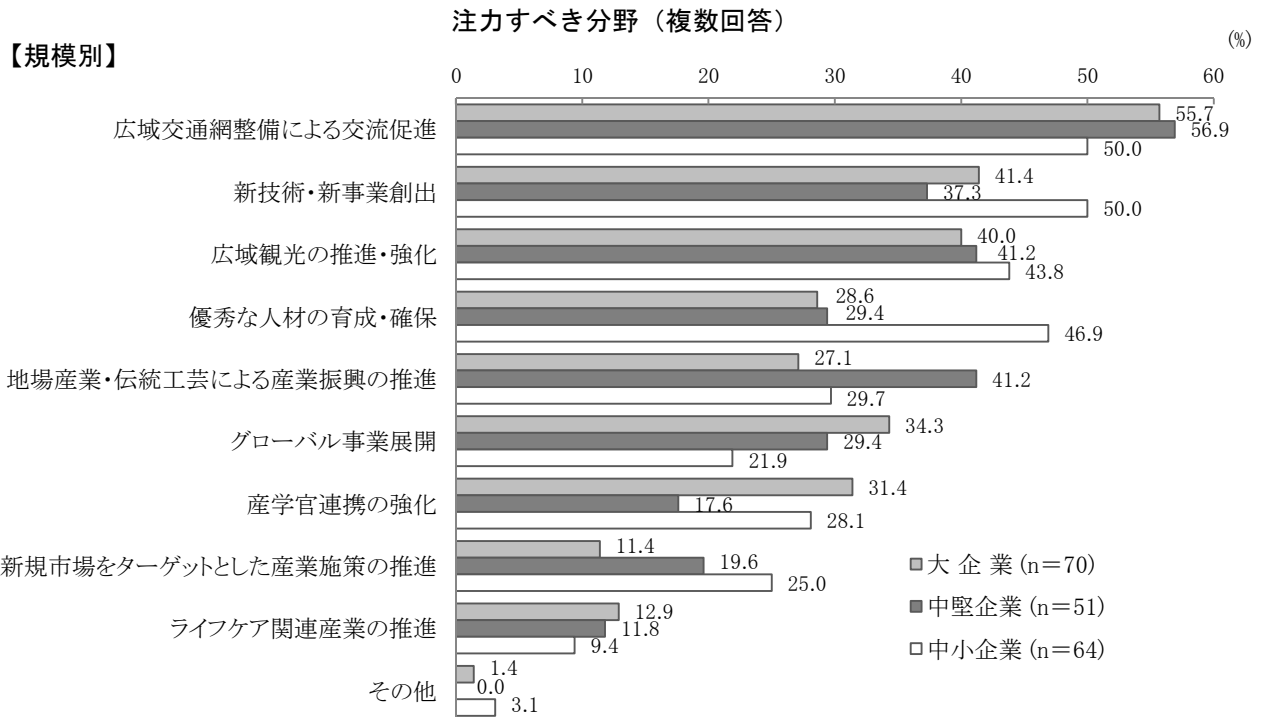
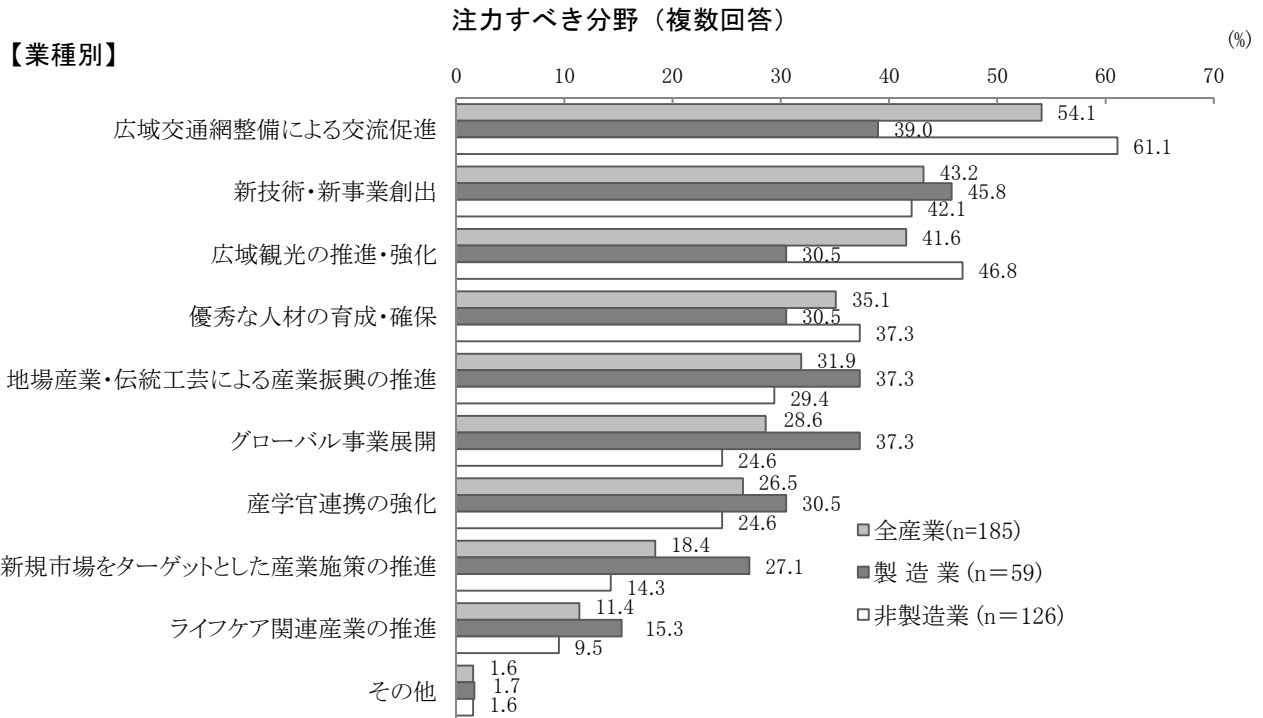
- ・ 少子化対策
- ・ 投資減税
- ・ 増税なき財政再建
- ・ 震災復興

III その他(北陸における成長戦略)

今後の北陸における成長戦略についてお聞きします。

Q.3

北陸の産業の今後の成長に向け、どのような分野に注力すべきと思われますか。(複数回答可)



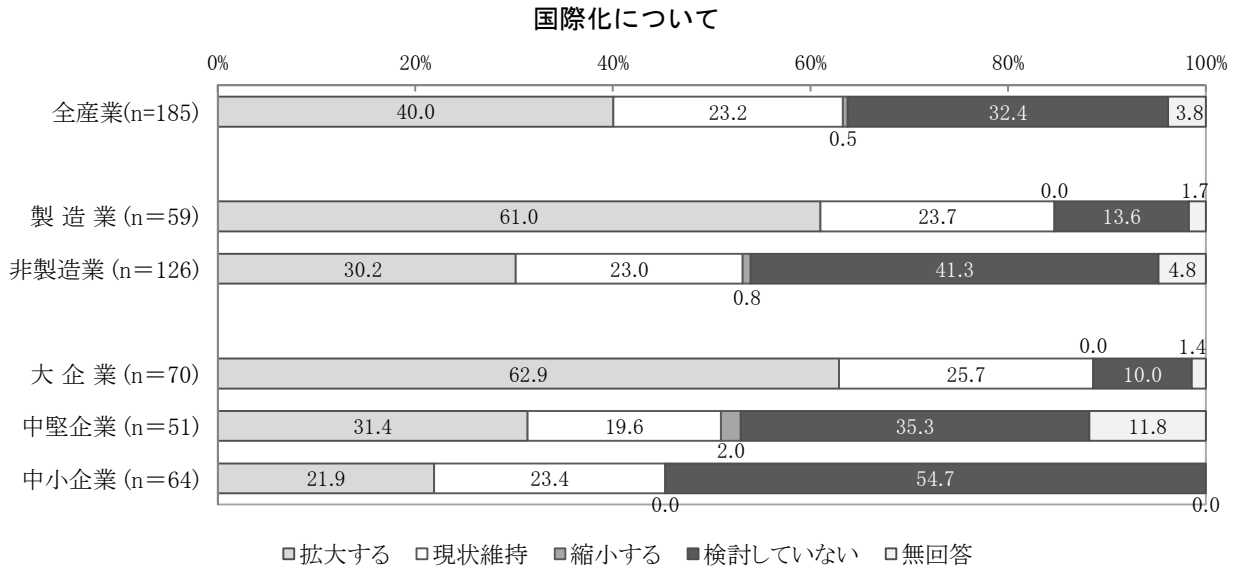
III その他(貴社の国際化)

貴社の国際化(※)に関する考えについてお聞きします。

(※ 海外進出だけでなく、貿易取引や海外企業との提携など幅広い企業活動を指す)

Q.4

貴社は国際化について、今後どのように取り組みますか。

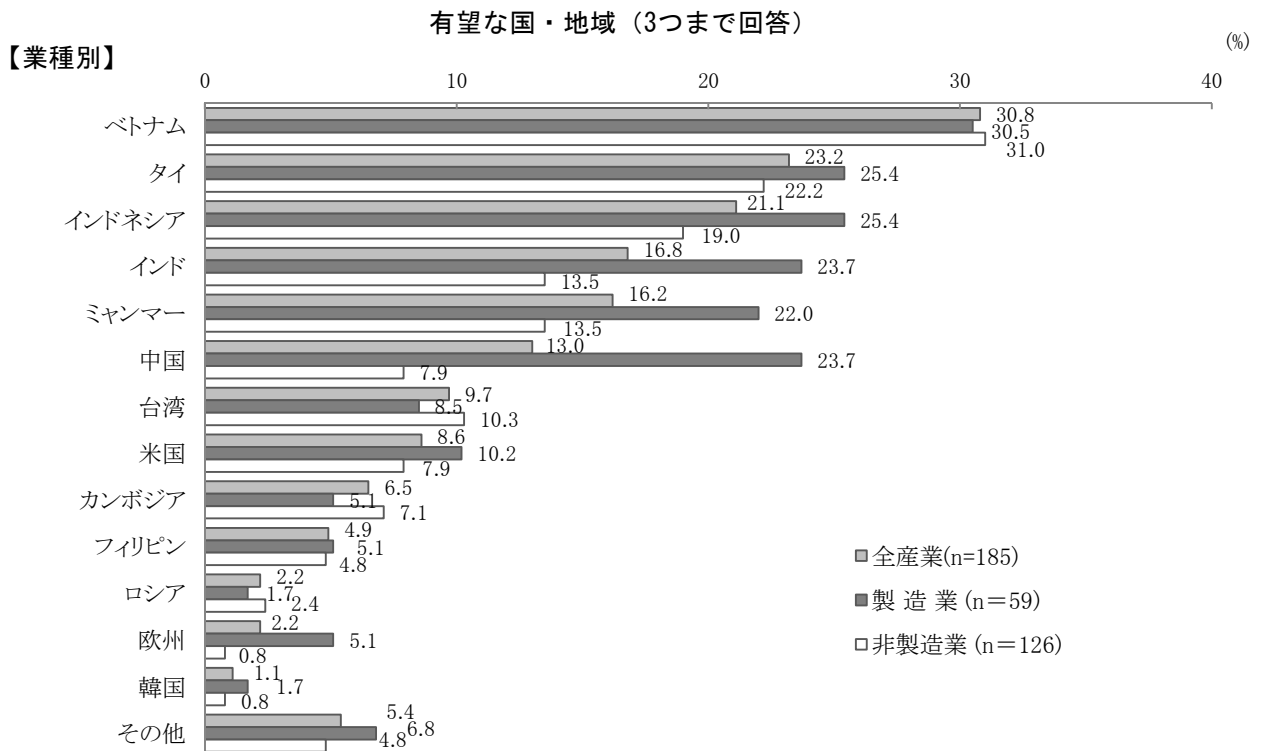


◎検討していない理由

- ・国際化をはかる規模ではない
- ・業種の特性
- ・内需マーケットに依存
- ・人材が確保できない

Q.5

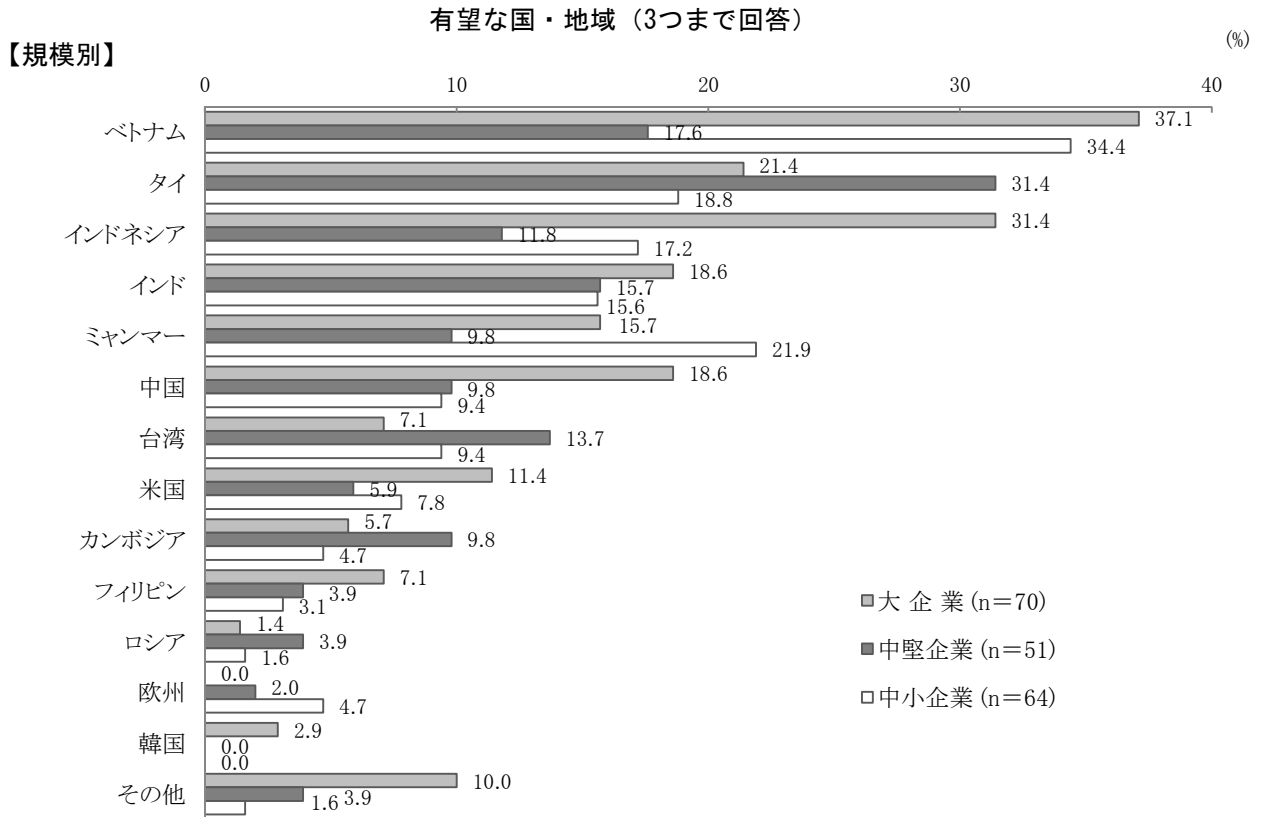
今後5年程度で、生産拠点または市場として有望な国・地域はどこですか。
また、その理由は何ですか。(3つまで回答可)



III その他(貴社の国際化)

Q.5

今後5年程度で、生産拠点または市場として有望な国・地域はどこですか。
また、その理由は何ですか。(3つまで回答可)



◎有望な国・地域として選んだ主な理由

(ベトナム)

- ・経済発展が著しい
- ・安価な人件費
- ・労働者の質が高い
- ・2015年ASEAN経済統合の中心

(タイ)

- ・経済成長が見込まれる
- ・経済社会の安定性
- ・親日的である
- ・日系企業が多数進出

(インドネシア)

- ・経済成長が見込まれる
- ・治安が安定、親日的
- ・日系企業が多数進出

(インド)

- ・人口増による購買力アップ
- ・IT先進国

(ミャンマー)

- ・経済成長が見込まれる
- ・安価な人件費

(中国)

- ・まだまだ発展が見込まれる
- ・市場が大きい
- ・労働人口が多い

(台湾)

- ・互いの文化を共有できる
- ・中国市場の組込み

(米国)

- ・世界経済の中心
- ・政治・経済の安定性と規模

(カンボジア)

- ・安価な人件費

(フィリピン)

- ・経済成長が見込まれる

(ロシア)

- ・ポテンシャルが大きい

(欧州) ドイツ・フランス・スイス

- ・市場として期待できる

【その他の国・地域】

(シンガポール)

- ・過去実績がある

(アラブ首長国連邦)

- ・欧、亜、アフリカ、中東のハブ

(ブラジル)

- ・市場規模が大きく、
今後も成長が期待できる

平成25年10月31日発行

北陸経済連合会

HOKURIKU ECONOMIC FEDERATION

〒920-0981 金沢市片町2-2-15 北国ビルディング4階
TEL: 076-232-0472 FAX: 076-262-8127
e-mail info@hokkeiren.gr.jp
URL <http://www.hokkeiren.gr.jp>